

豊橋・田原の「旬とおいしい」 をお届けする



「アグリパーク食彩村」の概要

住所：愛知県豊橋市東七根町字一の沢113番地2

URL：<https://michinoeki-toyohashi.jp/index.html>

アグリパーク食彩村では、豊橋・田原で採れる農産物を中心に、加工品、お惣菜等を販売しています。また、連携している道の駅とよはしでは、地元産品を楽しめる施設の運営や、道の駅農園の運営、レストラン、イベント、アクティビティ体験にも取り組んでいます。今回、その開設の経緯や取組内容取材しました。



「道の駅」とのコラボレーション



農政局…運営の主体と開設の経緯を教えてください。

食彩村…平成20年に「JA豊橋とJA愛知みなみの共同出資で設立した、株式会社JAあぐりパークが運営しています。平成21年4月「アグリーマーズマーケット「あぐりパーク食彩村」が開業しました。その後、令和元年5月に道の駅とよはしがオープンしたのに合わせ、また、その頃に道の駅とよはし内に、食彩村花マルシェができました。

農政局…道の駅にはどのような施設がありますか。

道の駅とよはし…道の駅とよはしは株式会社道の駅とよはしが運営しており、物産処「まるっとみかわ」、コンセプトショップ「tenity」、食彩村花マルシェ、ベーカリー「オリーブの風」その他飲食店等があります。



「食べてみよう」「贈ってみよう」といった、「てみよう」を伝える豊橋発のコンセプトショップ

農政局…売上や来客者数を教えてください。

食彩村…売り上げは年間約14億円、来客者数は約70万人まで成長しました。

農政局…直売所の出荷者数は何人ほどでしょうか。

食彩村…JA豊橋とJA愛知みなみの管内に所在する生産者565人が登録しており、実際には400人の方が出荷しています。ただ、近隣のお客さんのために品ぞろえは必要なので、時期がずれ集荷が難しいものは他の地域のものも置いています。全て国産です。

農政局…陳列は出荷者が行っているのですか。

食彩村…袋詰め、値決め、陳列全て出荷者自身で行っています。出荷の1週間、10日前までに生産履歴を提出いただき、食彩村もしくは石巻地区、田原地区の中継地へ持ち込んでもらっています。

値段は市場価格を参考に生産者が決めているので、こちらから指導することや目揃えはしていません。



三河の魅力を発信！
三河のテーマパーク

地元の素材を使用



その日の焼き立てパンが楽しめるベーカリー

お客さんが良く来る直売所の特徴

店長一押し

広々としたコーナー

今売れてます

食彩村…出荷者はメール配信システムの個人別売上情報で販売状況を確認することができ、必要であれば追加出荷することも可能です。今はお中元の時期なので、大箱のメロンやスイカがよく売れます。この地域では地元豊橋のフルーツを贈り物にする習慣があり、加えて地方への発送も行っているため、一日に何往復も追加出荷をしている生産者がいます。

農政局…来店するお客さんはどういった方が多いですか。

食彩村…お客さんは、市内が半数、市外が半数です。場所がバイパス（国道23号線）沿いに立地しており、観光バスが止まる駐車場があるので、旅行会社が企画するフルーツ狩りツアーの立寄り場所として利用されます。そのため、立ち寄ったお客さんがリピーターとなつて訪れていただけることがあります。



豊橋・田原の物を中心に揃えられている



小島梨というブランドが確立されており、幸水を中心に、豊水、あきづき等の品種を組み合わせ、長い期間出荷できるように工夫している

希少な国産ライチ

栽培期間農薬不使用のお茶

農政局…開業から変化した点はありませんか。

食彩村…以前は出荷者にとって直売所は、共同選果場に出せないものや旬を過ぎたものの売場という色合いが強かったのですが、自ら価格設定をして販売し、消費者とふれあうことを通じてよりいいものを出荷しようという意識に変化してきています。この直売所だけで1000万円以上売り上げる生産者も多くいるので、この食彩村が地元農家の所得向上や、ひいては新規就農者の増加に貢献していると感じています。

農政局…農産物で特徴的なものはありますか。

食彩村…新しいことに積極的に取り組んでいます。国産ライチの生産量は流通量の1%程度しかない貴重なものが、豊橋で2軒の農家が生産しています。いずれ、この地域がライチの産地に成長してくればと期待しています。アボカドの生産も進められており、採算ベースに乗るようないろんな品種を試している最中です。



とれたての生ライチは芳醇な香りでプリっとしています。



平成20年より栽培期間農薬不使用に取り組む事業者

「地元」から集めた 道の駅とよはしの人気商品

道の駅オリジナル

農政局・道の駅とよはしで取り扱っている商品について教えてください。
道の駅とよはし・teninoでは地元から集めた数々の商品を取り扱っています。商品は、店舗スタッフが探しにいたり、生産者の持込みにより揃えられています。
オリジナル商品もあり、一押しはクラフトビールです。豊橋の農産物をPRしたいという思いから、地元の農産物を使ったクラフトビールが誕生しました。地元のお米を使った「女神のほほえみ」や無農薬レモンを使った「大人の初恋レモン」など、たくさんの種類があります。



来場100万人達成を記念して、副駅長考案のもと販売されたオリジナルクラフトビール
現在は様々なフレーバーで展開している



加工方法を工夫したフルーツトマトジュース
トマト特有の青臭さを最小限に抑え、甘くて飲みやすい



農政局・地元の物をその場で味わえる商品がありますか。
道の駅とよはし・道の駅とよはしの農園で「うずらいも」と名付けたさつまいもやスイートコーン等を栽培しています。収穫体験や加工品を作ってきましたが、令和5年8月にポップコーン専門店をオープンしました。コーンの種類とフレーバーを自分でカスタマイズし、注文を受けてから目の前で調理するので出来立てが味わえます。
このような、生産から販売まで、川上から川下の取組をどんどんやっていきたいですね。



愛知県唯一の水産高校、三谷水産高校の生徒が考案した「愛知丸ごはん」

ポップコーン専門店
「Me POPCORN」

アクティビティやイベントと一緒に、地域をPR

農政局…道の駅を盛り上げるための取組はありますか。
道の駅とよはし…道の駅には体験型アクティビティがあります。レンタサイクル、サーフィン体験、ウミガメ観察体験、ネクストクルーザーガイドツアーを用意しています。中でも、ネクストクルーザーガイドツアーは電動EVミニカーを使い、豊橋の美しい海岸を駆け抜けることができます。関東、関西はもちろん、北海道からお客さんが来るほど人気です。
アクティビティに参加してくれた方に、地域の農産物等を紹介することで、PRの場にもなっています。



道の駅とよはしを拠点に、各地の観光スポットに行くことができる

クルーザーとパシヤリ



入口にはクルーザーがお出迎え



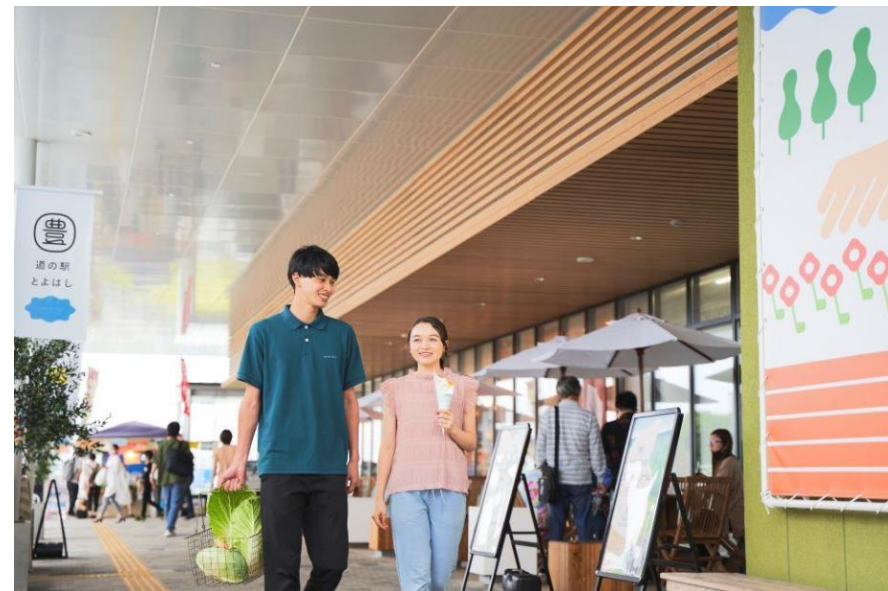
ネクストクルーザーで「表浜海岸」を巡ろう



東海最大級クラフトビールイベント

農政局…その他、イベントはありますか。
道の駅とよはし…令和5年9月末にクラフトビールのイベント「アワアワアワー」を豊橋駅の街中で企画しています。北海道から徳島まで、22のブリュワリーが出演します。各社3〜4種ビールを持ってくるので、約100種のビールが集まり、東海エリア最大級のイベントになるでしょう。道の駅とよはしの新商品、露あかねのビールもそこでお披露目する予定です。
愛知県からは10社出展しますが、中でも田原市で養豚業を営む会社が、自社栽培したパイヤを使ったクラフトビールを販売するという非常に面白い取組をしています。

もっと豊橋を味わってほしい



うずらいも収穫体験

道の駅とよはしイメージ



今回取材に協力いただいた
道の駅副駅長の吉開さん（右）、食彩村店長の鈴木さん（左）

農政局…現在の課題を教えてください。
道の駅とよはし…駐車場のスペース不足が課題です。一年を通して平日でも、たくさんのお客さんが来てくれます。しかし、駐車場がすぐに満車になってしまったため、新たに確保する必要がありますと考えています。

また、売り場面積もひっ迫しており、新たに出荷したい生産者はたくさんいますが、棚不足で断っている現状です。どちらもうれしい悲鳴ですが、土地の確保や施設の拡張など簡単ではない課題があります。

農政局…今後の展望を教えてください。
道の駅とよはし…バーベキュー場を作ることを検討しています。道の駅の農場や食彩村の野菜、畜産物を食べてもらいたいという思いと、他の地域から来た方に、この地域の食材の魅力を知ってもらう機会になると考えています。アイデアとして持っているのは、素材の良さをより感じてもらえる無水調理を試してみたいです。野菜がびっくりするぐらいおいしくなりますよ。

食彩村…生産者が赤帽を被って、消費者からの相談を受けることはやっていました。今後はこれをイベント的に実施して、大きな試食会を開催しながら農家が対面販売する機会を増やしてみたいと思っています。

農政局…ありがとうございました。